学校番号	3015

令和８年度数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「最新　数学Ⅱ」　（数研出版）						
副教材等	書き込み式シリーズ【基本～標準】教科書傍用 パラレルノート 数学Ⅱ　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業用ノートやプリントで授業を進めます。
・様々な法則や公式の説明及びそれを使った問題の解き方を説明します。授業ノートやプリントにしっかりとまとめ、理解してください。
・授業中に出題する問題を自分で解いていきましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方をきちんと書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
・定期考査ごとに配布する対策プリントにしっかりと取り組みましょう。
・パラレルノート 数学Ⅱは定期考査や単元の切れ目に提出してもらいます。

2　学習の到達目標

前期では、完成ワークを用いて就職試験に必要である基礎的・基本的な計算や技能、考え方を身につけます。後期では三角関数、円の方程式、領域についての基礎的な知識や技能を習得します。事象を数学的に考察する能力を培い、数学の良さを認識できるようにします。さらに、それらを活用する態度を身に付けることを目標とします。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学における基礎的・基本的な計算方法や、三角関数及び円と領域について、公式、解法などの概念や、原理・法則などを体系的に理解し、数学的に処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	数学における基本的な計算や技能、考え方において、事象の状況や構造を論理的に考察し、明確で簡潔に表現することや、問題解決の過程や結果を振り返って多面的・発展的に考察したりする力を養うことを通して、数学的な考え方や表現方法を身につけている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	演習①	数や式の計算 １次方程式 連立方程式 数と量の文章問題 平方根の計算	a:四則演算や累乗の計算を正しく行うことができる。式を適切に変形し、方程式の解を求めることができる。平方根の計算を正しく行うことができる。 b:問題の中での数量関係を整理し、適切に方程式を立てることができる。平方根の意味や性質を理解している。連立方程式についての２通りの解法を理解している。 c:日常にある様々な数と量の関係について、変数等を用いることにより、値を求めることができることに関心をもち、考察している。	単元ﾃｽﾄ 定期考査	単元ﾃｽﾄ 定期考査 提出ﾉｰﾄ	観察 提出ﾉｰﾄ
	演習②	因数分解 速さの文章問題 １次関数とグラフ 図形の面積 三平方の定理の利用 立体の体積と表面積 確率	a: 因数分解についてのいくつかの形を理解している。日常生活で扱われるような確率を求めることができる。1次関数についての基本的な形を理解し、与えられた条件から直線の方程式を求めることができる。 b:直接面積を求めることのできない図形に対して、補助線を引いたり、全体から一部分を引いたりするなどのアプローチを行うことができる。 立体図形に関する体積、表面積の公式を理解している。 c:日常的に扱われる速さや時間､距離の計算について､様々な問題の状況において、変数等を用いることにより、値を求めることができることに関心をもち、考察している。	単元ﾃｽﾄ	単元ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	観察 提出ﾉｰﾄ ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題

前期	演習③	２次方程式 不等式 割合の文章問題 規則性などの文章問題 図形と角、円	a:多角形の内角の和や平行線の性質、円周角などについて理解している。不等式と方程式との違いを認識し、２次方程式や連立不等式の様々な問題に取り組むことができる。 b: ２次方程式や不等式を正しく式変形し、答えを求めることができる。また、食塩水や仕事算などについて、変数等を用い、式を立てることができる。 c:割合や規則性など、日常生活で扱われるような事象に関心をもち、考察して実際に活用しようとしている。	単元ﾃｽﾄ	単元ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	観察 提出ﾉｰﾄ ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題
後期	三角関数	一般角 孤度法 三角関数 三角関数の性質 三角関数のグラフ 三角関数を含む方程式･不等式	a:一般角についての基本的な用語を理解し、動径の図示ができる。また、度数法と孤度法との違いを理解し、相互に用いることができる。三角関数の定義を理解し、与えられた角θに対して、$\sin\theta$、$\cos\theta$、$\tan\theta$をそれぞれ求めることができる。 b:三角関数を含む方程式、不等式に対して、単位円等を用い、条件の範囲で答えを求めることができる。また、正弦、余弦、正接のグラフの形について考察し、そのグラフをかくことができる。また、単位円の有用性について考察することができる。 c: 角を拡張して考える意味を考察している。また、三角関数の様々な性質について関心を持ち、考察することができる。	単元ﾃｽﾄ 定期考査	単元ﾃｽﾄ 定期考査 提出ﾉｰﾄ	観察 提出ﾉｰﾄ

後期	円、軌跡と領域	円の方程式 不等式の表す領域 連立不等式の表す領域	a:円の方程式が三平方の定理によって表されていることを理解する。連立不等式が表す領域を図示することができる。 b:方程式を変形し、その方程式が表す図形を示すことができる。 c:座標平面上においての円の方程式の表し方や性質について関心を持ち、考察している。	単元ﾃｽﾄ	単元ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	観察 提出ﾉｰﾄ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度